

佐世保市立白南風小学校



所在地 佐世保市山祇町387番地
校長 境 裕一
児童数 278名 学級数 15学級

教育目標

豊かな心・優れた知性・たくましい体をもつ
創造性豊かで実践力に富む子どもの育成

めざす子ども像

- ・やさしさいっぱいの子
- ・やる気いっぱいの子
- ・元気いっぱいの子

☆テーマ

豊かな心を育む教育活動と未来へ向けた学力向上への取組

☆目的

学校教育目標の具現化を図るために、以下の視点から校長の経営ビジョンに基づく教育実践を行う。

- (1) 豊かな体験活動
- (2) 確かな学力の定着
- (3) 家庭・地域との連携充実



☆内容

豊かな体験活動

①花いっぱい運動（全学年）

植物の栽培を通して生命を大切にする気持ちを育むための手立ての一つとして取り組み、豊かな心を育てる。



②赤ちゃんふれあい事業（5年生）

幼児教育センターと緊密に連携した「赤ちゃんふれあい事業」に取り組み、赤ちゃんとその母親の姿から、親子の絆や親の愛情の深さを感じたり、子育てについてインタビューしたりすることで、命の尊さを感じ、生命尊重の心を養うことができた。



③保幼小交流・接続活動（全学年）

同じ敷地内にある白南風幼稚園や、近隣の保育所、幼稚園の幼児との交流を通して、接続カリキュラムを意識した単元構成、授業実践を行うことができた。小1プロブレムをなくし、安心して小学校の学びに向かう姿が見られた。また、中・高学年においても、交流活動を通して思いやりの心を育むことができた。



園児を夏休み作品展に招待(6年)

園児に鬼のお面プレゼント(3年)

園児と手作りおもちゃで交流遊び(1年)

④図書ボランティア・読書活動の充実（対象：全学年 通年 内容：本の読み語り）

読書に関する関心を高め、情操を豊かにすることができた。また、8割以上の児童が、年間100冊読書の目標を達成することができた。

- ①図書ボランティアによる読み聞かせ（低中高別に週1回実施）
- ②目標冊数の設定（年間100冊読書）
- ③図書室の整備（蔵書点検と整理、掲示物づくり）
- ④ビブリオバトルや読書ビンゴ、ブックトークなど子どもの読書意欲を高める工夫
- ⑤職員による読み聞かせ、児童同士のペア（低学年と高学年）読書



本年度の図書貸出冊数
『32, 539冊』
1人平均117冊
(令和5年3月13日現在)

⑤講師招聘による講演会・体験学習」（対象：全学年 通年）

講師招聘による講演や体験学習により、豊かな心を育み、自己肯定感を高めたり、自分の健康を守ったりする意識を高める。

全学年：わんぱく寄席鑑賞（文化庁巡回公演事業、5月、6月）

全学年：いっちゃんの楽しいコンサート（6月）

6年：佐世保空襲語り部講演（6月）

6年：租税教室（6月）

5年：赤ちゃん触れ合い事業（6月、11月）

全学年：交通安全教室（6月）

6年：薬物乱用防止教室（7月）

3年：佐世保独楽絵付け及び独楽体験学習（9月）

5年：思春期講演会（9月）

5・6年：飼育動物講習会（9月）

4年：Fun English Camp（9月）

4年：ふるさと体験学習（9月）

6年：4校合同清掃（9月）

4年：三川内焼絵付け体験（10月）

5年：岩寄紙器見学、波佐見焼き絵付け体験（10月）

1年：生活科遠足「佐世保公園～秋をみつけよう」（11月）

2年：生活科遠足「バスに乗ろう・図書館見学」（11月）

3年：社会科見学「消防署・警察署見学」（11月）

全学年：のびのびデー「読み語り・化学教室・学校クイズラリー大会」（11月）

5年：日産自動車栃木工場リモート見学（11月）

2年：いも掘り体験（11月）

3年：人権教室（11月）

5・6年：睡眠セミナー（11月）

4年：社会科見学「ゴミ処理場・水道施設」（11月）

5年：お茶の淹れ方教室（12月）

2年：長崎ヴェルチア親子ダンス教室（12月）

全学年：漫才鑑賞（子供育成総合事業（2月）



いっちゃんの楽しいコンサート



佐世保独楽絵付け体験



交通安全教室



のびのびデー（化学教室）



文化庁講演事業「わんぱく寄席」



体育実技サポート事業(水泳)



租税教室



子供育成創業事業「漫才」

確かな学力の定着

① 基礎基本の徹底（対象：全学年 時期：通年）

国語・算数を中心に、総合的な学習の時間、生活科の学習、特別活動など、教育活動全般を通じて、基礎学力の底上げを達成することができた。基礎学力の定着を図った。全国・県・市の学力学習状況調査において、全国平均を上回る結果となった。

② 校内研修の充実（対象：全教職員 時期：通年）

授業研究や佐世保市教育センターの研修成果を校内で共有し合うことで、教師の意識改革と授業力向上につなげることができた。学びの白南風スタンダードを確立し、主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業を日常的に行い、児童の学力向上へとつなげることができた。



家庭・地域との連携充実

① あいさつ運動の強化（対象：全学年 時期：通年 あいさつ運動）

保護者や地域との連携を通して、明るい挨拶が交わされる町づくりに貢献した。また、山澄地区コミュニティーセンターと協働し、コロナ禍でも山澄地区の人同士の結びつきを大切にするために、かくし芸大会、クリスマスコンサート、標語づくり活動に取り組み、地域の方と子どもたちの結びつきを深めるとともに、地域全体で子どもたちを育てていこうとする機運を高めることができた。

さらに、地域の民生児童委員・交通安全指導員・警察・市役所と連携し、通学路合同点検を実施できた。

② 学校支援会議「白南風っ子支援会議」（対象：地域・学校評議員 時期：年2回）

会議を通して、学校関係者評価等を実施することで学校運営の充実を図ることができた。

② 徳育推進活動（対象：全学年 時期：通年）

SDGs の取組をすることで子どもたちの豊かな心を育成することができた。また、子どもたちのボランティア精神を育み、将来に渡って積極的な行動ができる子どもの育成に努めることができた。

